



# TECHNICAL GUIDE

昭和49年 9月

(NSBクリスタ採用)  
日本短波放送専用ポータブルラジオ

## R-188



### ■定 格

受信周波数帯

SW	NSB1	3.925MHz
		6.055MHz
		9.595MHz
NSB2	3.945MHz	
	6.115MHz	
	9.760MHz	

中間周波数	455kHz
受信感度	30 $\mu$ V/m/5mW
実用最大出力	90mW (EIAJ)
スピーカ	5cm PM ダイナミックスピーカ インピーダンス 8 $\Omega$
電池	ナショナルハイトップSUM-3-D 2個 3V
形 状	66(幅) $\times$ 117(高さ) $\times$ 33(奥行)mm
重 量	260g(電池共)
付 属 品	イヤホン (XEH1A1) イヤホンケース (RQC3301) 電池 (SUM-3-D) 2個

技術サービス費  
**800円**

標準価格 **7,900円**  
キャビカラー グレイ

※本機の定格は性能向上その他により変更することがあります。

### ■プリント基板取外し取付要領

- プリント基板を取外す場合は次の順序で行なって下さい。
- 1. キャビフタ取付ネジ(XTB3+16BBN)を外して、キャビフタを取外して下さい。
- 2. 第1図に示すように音量調整つまみ側からプリント基板を取外して下さい。
- 3. プリント基板をキャビネットから完全に取外す場合は電池ケース、ロッドアンテナ端子、イヤホンジャック及びスピーカへのリード線の半田付を外して下さい。
- プリント基板を取付ける場合は上記の順序を逆にこなして下さい。

(注) 第2図に示すように、①、②の順にプリント基板を取付けて下さい。

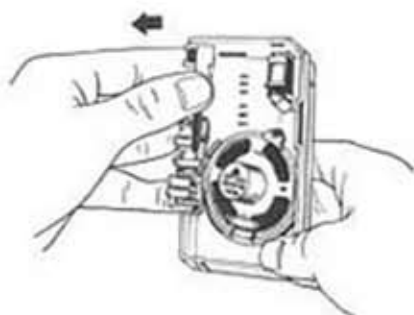
### ■調整要領

#### ●調整目盛

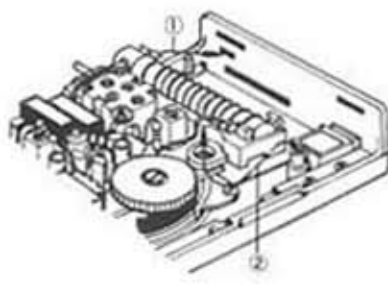
メモリに刻印してある赤色マークが、目盛板の3.945MHz(プログラム切換スイッチはNSB2)及び9.595MHz(プログラム切換スイッチはNSB1)に出るようにバリコンを回転して調整します。調整個所及び調整順序は、調整個所図に記載しておりますので、これを参照して下さい。

(注) 振動に対しづれないように、調整後は必ずコアアンテナのコイルをワックスで固定して下さい。

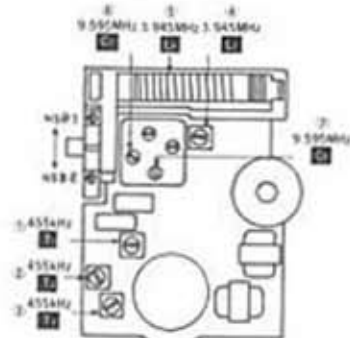
### ■調整個所図



(第1図)



(第2図)



保証書は必ず発行し、登録カードは販売会社に返送しましょう。